



(左から) 野田事務局長、伊藤部長

12月
8日

車イスを寄贈 大分県商工会女性部連合会

12月8日(木)、大分県商工会女性部連合会が、くにさきケアセンターなのはなに、車イスを寄贈しました。同会では社会福祉活動の一環として、平成9年度から女性部員の募金で福祉施設や教育機関へ車イスを贈っており、これまでの15年間で209台が県内各地に贈られました。

国東市社会福祉協議会で行われた贈呈式では、武蔵町商工会女性部の伊藤幸子部長が趣意書を読みあげ車イスを贈呈。同協議会の野田建太事務局長が「デイサービスセンターで大切にに使わせてもらいます」とお礼を述べました。

桜吹雪く谷を夢見て 弥生のムラで植樹祭

12月11日(日)、弥生のムラで、夢咲き桜の会(藤本加代子会長)主催の「桜吹雪く谷」植樹祭が行なわれました。当日は、豊崎小学校みどりの少年団、くにさき企業会、くにさきロータリークラブ、国東ライオンズクラブ、成仏桜会などの団体から約180人が参加し、河津桜150本を植樹しました。

植樹した桜は、国東市出身で東京都在住の日野隆さんが、夢咲き桜の会へ300本を寄贈したもので、残りは、岩屋・横手地区と成仏地区に植樹する予定です。

同会の西田正孝事務局長は、行入ダムと成仏寺から桜八幡神社まで桜並木がつながることを目指して、取り組みを続けていきたいと話していました。

また、当日は、企業の森づくり協定企業による、みんなの森のボランティア清掃活動もあわせて行なわれました。



桜の贈呈(左から)日野さん、藤本会長

12月
11日



豊崎小みどりの少年団植樹



12月
11日

武蔵町白石神社でも桜の植樹活動

12月11日(日)、武蔵町内田白石神社周辺でも、龍神プロジェクト(有次昭二代表)の会員が桜の植樹を行ないました。今回植樹したソメイヨシノ30本は、緑化推進事業の一環で市から提供を受けたものです。白石神社周辺の土地は砂地のため新たな土が必要でしたが、地元佐藤建設の好意により、無償でダンプ40杯分の土の提供を受け、今回の植樹が実現しました。有次代表は、来年度以降も植樹を続け、海岸を桜でいっぱいになりたいと話していました。

福祉のために くにさきロータリークラブが寄付

12月14日(水)、くにさきロータリークラブの小出正和会長、定村智章幹事、会員の秋國良二さんが市役所を訪れ「福祉に役立ててください」とチャリティーゴルフ大会で集まった募金など5万円を寄付いただきました。

同クラブ主催のチャリティーゴルフ大会は、12月4日(日)、宇佐、杵築、豊後高田市など近隣クラブからの参加も含めて41人が参加して、市内ゴルフ場で開催されました。チャリティーの募金と同クラブからの寄付をあわせていただきました。

12月
14日



(左から) 定村幹事、三河市長、小出会長、秋國さん